

**第489回 5月25日開催  
出席委員（50音順・敬称略）**

荒巻 裕	大村 英昭
木下 明美	倉光 弘己
黒田 勇	櫻井 美幸
深井 麗雄	

**テレビ報道番組**

**西日本8局特番「食べても大丈夫？～崩壊する食への信頼～」**

**5月5日（水）午前10時20分～11時15分放送**

**\*深井委員**

ひと言で言えば、非常に中身の濃い番組である。限られた時間の中で8局の連携プレーが非常にうまく行ったからこそ、あれだけ豊富な材料を盛り込めたのだと思う。毎日新聞でも、食に関する息の長い連載をしようと思っているので、興味深く見ることができた。次の段階として、輸入食品の安全性の問題を追及してほしい。

**\*荒巻委員**

視聴者の立場で言えば、西日本各局の知恵と力を束ねて作る番組を、もっと日常的に増やしてほしい。特に今回のような、全国的な緊急課題と言うか、ニュースの焦点になっている問題は、8局全部が揃う特番ではなくても、2～3の局と協力し合いながら、臨機応変に普段のニュース番組などの中で取り上げて行っても良いのではないか。

**\*倉光委員**

「それでは、どうしたらよいのか」という所で番組が終わってしまったので、もどかしさを感じた。食に関しては、複雑で根深い問題がたくさんあるので、普段から非常に腹が立っている。いたずらに消費者を不安に陥れないよう、表面的な現象ではなく根本的な問題を深くえぐり出すことが、テレビなどマスコミの使命だと思う。

**\*黒田委員**

今のテレビ界は「スローフードのファストフード」化のようなグルメ番組が幅をきかせているが、その中で今回のような番組を視聴者が見た場合、「国産は良くて外国産は悪い」という反応だけで終わってしまわないか。食の根本的な問題は一体何なのか、何をなすべきかということを、今後色々な番組を通じて提示して行かなければならないと思う。

**\*大村委員**

日本が抱える食の問題に対する認識に、やや深みが足りないという印象を持った。

根本的な問題は、やはり日本の飽食文化だと私は思う。せっかく、西日本の8局が協力して制作するのだから、もう少し、日本の食文化への批判的な目といったものが根底にあれば、説得力も違っていたと思う。

#### **\*櫻井委員**

限られた時間の中で、食に対する色々な角度からの問題提起はあったと思う。ただ、偽装表示などの問題に対して、行政側が一体何をしてきたのか、今後何をしようとしているのかという検証は必要だったのではないか。また食の安全についても、賢い消費者としての目をどう養っていくかという視点がもっとほしかった。

#### **\*木下副委員長**

8局それぞれの映像はうまく編集されていたと思うが、「今、何が問題なのか」など、全体を包括的に見ながらジャッジできるような人間がスタジオに居てもよかったと思う。食に関する問題は非常に重要なので、日常的に夕方のワイド番組の中などで、面白おかしくではなく、ちょっとピリッとした切り口で取り上げて行ってほしいと思う。

#### **民放連の「視聴率のあり方に関する調査研究会」の報告**

調査研究会として、視聴率に代わる番組評価基準についての結論は出なかったが、視聴率調査のデジタル化対応の検討。報奨、顕彰制度の充実。さらに、視聴率調査会社の監査の充実という3つの提言をまとめたことを編成局長が報告した。